いわき民報
所　行　發
社報民報をいわき
平市田町四八番地　電話三八一
編輯兼發行人　千葉克己
印刷人　大橋
（但月曜を除く）
定價一部五十錢　一月一円五十錢

縣の對象は十七炭鑛

ヤマの住宅等下期割當決定

ヤマを働くもの、樂園にと政府では主要炭鑛の住宅及び厚生施設に力を注いでいるが本年度下半期分の計劃も閣議の承認をみ、本縣分もこの程通知があつた右による本縣の對象になるのは次の十七鑛で新築される住宅の内譯は勞務者住宅三百二十戸、職員住宅八十六戸、勞務者合宿六戸、職員合宿二戸、厚生施設二十一戸で、明春三月末日までに建築完了の豫定とされている、建築資金は各炭鑛が十ケ年償却の條件で融資を受けることになるが、復興院では完成したなら資金及び資材等の使用狀況の監査もすることになつている

◎勞務者住宅　常磐六〇▲古河好間二〇▲大日本勿來一〇〇▲隅田川一〇▲小田一〇▲矢郷一五▲上山田六▲東海二〇▲田、壽、三松、中郷、萬治一〇▲植田二〇▲浪花三▲瀧田一〇▲三松一〇▲天の川五▲品川黑田一〇

◎全改築　大日本勿來五〇▲日曹福島一五

◎全修築　大日本勿來二〇

◎勞務者合宿　常磐二▲古河好間一▲大日本勿來三

◎職員住宅　常磐六〇▲大日本勿來二〇▲植田六

◎職員合宿　大日本勿來一▲植田六

◎厚生施設　常磐二（管理人事務所一、學校一）▲大日本勿來九（診療所一、理髮所一、保養所一、託兒所一、學校一、集會所四）▲植田六（浴場二、配給所二、診療所一、理髮所一）▲瀧田五（浴場三、配給所一、診療所一）

鑛12超出
旬間成績最高
常磐炭田上旬出炭

常磐炭田上旬の出炭成績がきまつた、右によると東北が六萬六千四十トン、遂行率八〇四パーセント、東部が二萬五千九百五トン、遂行率九二パーセントで合計目標十萬九千五百トンに對して九萬一千九百四十五トンの實績で、稼働率は八九パーセントを示して旬間成績は最高を示した、出超炭鑛は古河好間鑛を筆頭に、戸部、上山、壽、三松、中郷、磯原、神の山、高萩、上田、關本の十二鑛に達したが、主力三大炭鑛の成績は左の通り（單位トンカッコ内はパーセント）

常磐二六、二五二（九二）古河好間九、五三四（一〇五）大日本勿來五、〇二二（八三）

岩淵巡査
榮譽

警保局長から

平署岩淵清忠巡査は最近一ケ年間の犯罪檢擧と先般の兇惡犯罪掃滅月間の成績優秀として十二日警保局長から表彰された全國九十一名の被表彰者中、本縣からは全巡査と鬼刑事としてその敏腕をうたはれていた菊地武次小野新署しよ長の三名だけである

藁工品の供給圓滑化
工業會社支店設置

藁工品四百萬點、吳羽化學九十萬點と肥料關係が過半數を占め漁業、林産燃料　窯業など各五十萬點位宛使用、石城郡内の隆盛な事業界を物語つている

なお二十一日本社ホールで集荷人大會を開き需要期に當つて供給の圓滑化を期することになつた

濱三郡下の藁工品取扱ひ登錄業者一平市片寄好文、平地區商業協同組合、植田町池崎勤、中村町加藤

藁工品工業會社は平支店を設置、一日から開業したが、十四日午後一時から本社ホールに業者四十余名招き開店披露かねて協議會を開いた

石城地方は縣内で消費する藁工品四百萬點のうち、この八割に當る三百二十點といぶぼう大な數量を消費し、重要な位置を占めている、この内譯は日本水素八十萬點、吳羽化學九十萬點と肥料關係が過半數を占め漁業、林産燃料　窯業など各五十萬點位宛使用、石城郡内の隆盛な事業界を物語つている

なお二十一日本社ホールで集荷人大會を開き需要期に當つて供給の圓滑化を期することになつた

濱三郡下の藁工品取扱ひ登錄業者一平市片寄好文、平地區商業協同組合、植田町池崎勤、中村町加藤

幸福への招待
第二イワキ丸

内郷

國家警察
植田も存置
縣境の關門として

自治警察署は四市四十六町村への五十署ときめられたが、一方國家警察署は一郡一ケ署を原則として廢合されるが市郡下は平署と植田署の二署が認められる植田署は先般署長を警視に昇格したが、右は同署は縣境にあり、茨城縣と密接な關係があるばかりか、大きくみるときは東北地方と關東地方の境界線あるため特に一郡一署の原則を超えて存置をされることになつたものである、從つて平、植田には同時に國家、自治の兩警察が設けられるわけである

自治警察
設置運動

赤井村では先般の自治警察署設置委員會で決定されずに終つたが、全村は日曹赤井鑛を始め炭鑛を幾多有し、人口も五千を超えていて設置條件は決して他に劣らぬので、この際是非設置しようと猛運動を開始する事になつた

灰田勝彦を招いて

同胞援護會平支會では明春の舊正月を期し、人氣歌手灰田勝彦一行を招き資金造成の歌謡曲の夕を催すことに内定した

好調示す
セリ市

石城馬四組合主催の當才駒セリ市は去る八日から三日間、上遠野で開催　出場總數二百五十八頭で中寺よりも四十九頭多く、總賣上高は五百五十九萬九千三千三百圓、平均二萬一千七百二圓七十一錢であつた

最高三萬圓突破

去る十月の平窪の日本刀七人組強盜や九月の箕輪村菊地春衛方の強盜傷人事件の解決も遂げた努力家である

二圓、平均二萬一千七百二圓七十一錢であつたが買人は茨城から約三十名、群馬から二十五名栃本から十五名を始めその他埼玉、岐阜、遠く福岡、佐賀、四國の德島方面からもみえた、なお十二日から二日間黑田で開催されたセリ市は出場百頭、總賣上高二百三十一萬二千三百圓、平均二萬一千七百二十三圓で最高は牝の五萬圓牡の一萬三千三百圓であつた

湯本のヨイコ達の夜警

湯本町のヨイコ達は火災季となつた昨今、毎夜各町内に拍子木をたゝいて火の用心とばかり夜警を行つているので、町民から感謝されている

總額五十万圓か
郡下の新税果樹税

本年度の新税果樹税はの收獲高を基準とし、目下地方事務所で取りまとめ中だが、まだ屆出をみたのは平市及び好間、赤井の兩村のみで、他は何等まだ屆出をみていないので、今月中に是が非でも取りまとめることゝなり、十五日各關係町村に督促を發した、なお郡下の全税は總額五十萬圓程度の見込み

果樹税の課税は

カキ一本十圓
モモは五圓に

新税果樹税は果樹園に對しては賃貸價格とそ

優秀馬表彰
兩セリ市場に於て

【別項】上遠野及び黑田の當才駒セリ市に優秀馬として表彰されたものは左の通り（カッコ内は馬名氏名は賣入）

☆上遠野市場

◎牝一等四萬一千六百圓（勝榮）磐崎村酒井忠　◎二等三萬六千五百圓（五月）上遠野蛭田司郎◎三等二萬三千五百圓（花富）入遠野平子一◎牡一等三萬三千圓（神風）入遠野平子庄一郎◎二等三萬三千圓（北川）入遠野永山忠次◎三等三萬一千一百圓（石森）磐崎高木孝平

☆黑田市場

◎牝一等五萬圓（巧玉）田人綠川操◎二等三萬一千圓（福澄）田人蛭田清四郎◎二等三萬一千圓（宮本）田人小宅竹次郎◎三等三萬五百圓（松枝）田人綠川智

◎自由販賣

ひかり五〇圓（四圓）

◎配給品

朝日一五圓（六圓）みのり一五圓（六圓）のぞみ（十グラム）五圓（二圓）きんし六圓（二圓五十錢）

曹福島炭鑛
炭鑛落磐
一名が即死

曹福島炭鑛鹽田坑本線第三坑ポンプ座付近で落磐があり作業中のポンプ運轉夫鹽田年久君（二七）は即死

小名濱町
會忘年會

小名濱町では十六日の町會本會議終了後町主催で忘年會を催す

日曹福島
炭鑛落磐
一名が即死

十三日夜十一時半頃日曹牧平さん所有の第三漁福丸に全員無事即死外二名は輕傷を負つた救助された

トラック
轉覆
一名が即死

十四日午後三時頃内郷町大字御廐地内付近の國道で上好間村海産物生活補給金協同組合所有トラックを同助手の同村遠藤秀夫（二〇）同鈴木正美（二一）の二、八月分支給のため、その大半の財源をタバコ値上げ金に求めることゝし、ひかりの在庫品を自由販賣するとゝもに家庭等への配給タバコの値上げも行うことになつたひかりの自由販賣はこの二十日ところからの豫定で又家庭配給の値上げは一月分からである

（カッコ内現行價格）

◎自由販賣

ひかり五〇圓（四圓）

◎配給品

朝日一五圓（六圓）みのり一五圓（六圓）のぞみ（十グラム）五圓（二圓）きんし六圓（二圓五十錢）

やまたばこ
大幅値上
賣販由自ひかり

政府では官吏の生活補給金を同組合に給のため、その大半の財源をタバコ値上げ金より五尺下の田圃へ轉らずか

社告

平市第一小學校の建築工事に絡る不正事件は、既報の如く市會の決議に依つて市當局が告發し、司直の手に依つて正邪黑白を明かにすることになつたが、この問題をめぐつて巷間金古市會議長を陷る市長派の策謀である如く流布され、或ひは調査委員會の態度に人權を犯すものあつたといふものあり、更に調査報告書なるものが對照人の意見を容れず、一方的であつたと非難する向も頗る多い、事件は勿論檢察當局の取調べに依つて明かにされるであろうが、問題が兒童を教育すべき聖壇の建築工事にからむものであつて教育上に及ぼす影響大なるものがあり、關係者に反證の機會を與へ、眞相を明かにするため本催しを行うものである。現市理事者、市會調査委員會始め、前理事者、金古議長等關係者に對して參加招請狀を發送した。市民多數の來聽を歡迎する

市民公聽會開催

平第一校問題の眞相究く

期日　二十一日午後一時

場所　平市公會堂

參會者—鈴木市長、阿部助役、市會眞木委員長以下全委員、前市長伊藤秀吉、前市長代理佐藤信雄、金古市會議長、小沼復興課長、請負人三幸土建篠崎支配人、前三幸土建飯岡總務課長、大工請負人片寄傳右工門、屋根請負人新藤種次、壁職人石倉清治、佐藤磯江其の他關係者全部へ參加案内狀を發送した

主催　いわき民報社

（96電）受買服洋服和金即
附帯限利にて特別割引より格別の御申込に應じます
御買戻しの御相談に應じます
平銀座ヨコ紅小路　大崎屋

平警察署
無主物
拂下品賣立廣告

今般平警察署より當組合に拂下に成りたる無主物につき一般希望者に原價分譲致します

場所　平市南町中央會館前

日時　十二月十九日午前九時より午後三時まで

品名　リックサック、風呂敷、手サゲ、米袋、竹カゴ、トランク、其の他

平古物商組合協同組合
平市商町九一（電九一五）

いわき寸言

◎今年もアト半月、增えるものは食えぬ人間と犯罪ーウソ寒いこと

◎公務員の犯罪も增加

防犯に當りつゝ盜むもある、切ないこと

◎道義地に落つーあさましい人間性の一面のみが目につく今日この頃ヤミなぞものゝ數な

昭和二十一年六月一日（第三種郵便物認可）

眞野古墳發掘見學の記

史話會會員　根本忠孝

緒言

由來、相馬地方は考古學的に觀ても歷史的に觀ても、遺蹟遺物に富んでゐることは一般の定評とするところである。所謂、石器時代の石器、繩文土器が發見され貝塚があり、彌生式系土器も出土してゐる。而して該古墳文化時代の遺蹟に至りては眞野古墳群の存在を以て、大に誇りとするところである。更に歷史時代に入りては相馬氏累代の事蹟、亦然りとするところで殊に野馬追行事に至りては今に昔を彷彿たる觀である。

古墳群の位置

この古墳群は常磐線鹿島驛を八幡原に分布しあり、該地は多少の隆起はあるが概して平地で所謂眞野平原をなしてゐる。古墳群の文化的過程を見るときは、海岸線方面からの發達を知ることが出來る。

發掘の動機並に發掘

今回の研究發掘の動機は、かねて同地方の考古學的研究を進めてゐた柴田常惠先生に飛鳥古墳、登呂遺蹟、モヨロ貝塚などの發掘に比して、更に大掛りな發掘で相當に收穫つて古墳群既に世に照介されてゐるのであるが、この平原地帶が際營開拓豫定地に指定されたので土工の手により貴重な資料が壞滅にひんする恐れを避け地元有力者稲松練馬氏等の協力を得、調査發掘の許可を文部省から得たものである。而して慶應大學考古學教授藤田亮策先生を發掘主任に間崎文學部長、松本歷史教授、江坂輝彌、清水潤三氏並に本縣史蹟調査員梅宮茂氏等によつて去月二十三日（昭和二十二年）から十五日間の豫定で發掘された。發掘に要した人夫は相馬中學校、同女學校生徒の奉仕により約八百人を動員してゐる。

舊浮田國

この地方は舊浮田國であり浮田國造によつて支配された所である。眞野川流域の一帶は和名抄に行方郡眞野郷といはれ、また萬葉集には『みちのくの眞野の菅原』と詠はれた名所。

古墳の狀況及び發掘品

藤田亮策先生一行は八月後藤守一先生並に江坂輝彌、清水潤三兩氏等によつて發掘された小池原古墳群もこの一部である。

推定年代

これによつて東北地方及び關東地方にも九州地方及び關東地方と同じく古墳時代があつたことが明に立證されるが其年代に就ては藤田亮策先生は研究の余地ありとし未だ發表を待つことゝする。

（終り）

まだ七分八厘の低調

郡の供米本格化はこれから

郡下の供米は去る十日現在の調べによると一萬五千二百九十三俵で完遂率は七、八パーセントといつた低調さであるが、右は郡下の收穫かくはおそく、末端割當は漸く昨今すんだ程度のため、本格的供出はこれからになる結果によるものである、一般の供出に對する認識は漸く深まつてゐる。

イモの完遂は

既に一市十四町村

一方サツマイモの供出は十日現在で四萬一千九百八十五俵で八九パーセントを示しいま一息に漕ぎつけた、完遂をみたものは（數字はパーセント）

◎平市一〇二◎赤井一二六◎湯本一〇三◎內郷一〇〇◎永戸一〇六◎四倉一〇〇◎大野一〇〇◎飯野一〇三◎鹿島一〇〇◎好間一〇二◎渡邊一〇二◎上遠野一〇◎川前一〇二◎豊間一〇一

以上の一市十四町村及び最も不振の川俣村でも六〇パーセントに達して來ているとこれまた樂觀されている。

評畫映

こばと　功谷　こめ　熊谷

どう最負自に見てもこばとは成功した作品とは云ひ難い。同監督の舊作「次郎物語」に比べてかへつて低度が低い樣な氣もする。折角の長日月を費して之の出來榮では島監督の前途が思いやられる。

大体が無理な飯事である。島監督は何處に主眼を置いたか窺い知るべくもないが、大人の見る童話と意氣込んだそうであるから、大体の想像がつく。しかしあまり「こばと」のあり方のみに氣を使つて、肝心の人物描寫がお粗末出來上りである極端に言へば「こばと」道中記とでも言う可きか。眞の幸福を求めて代々暮した山を出て行く主人公の惱みも、その切實さが出ていないし、あれでは何の爲に出て行くか見當がつかない。もう少し切實味が欲しかつた。

ラスト近くの難破の樣子が描かれておらぬので手紙一つで說明しようとするのも無理があるし、又船中へ救けられ「綠の小筐」を手にする迄の感動が少しも響いて來ない。困つた作品である。それにも增して退屈さを感じさせるのは主題歌の眠くなる樣な活氣なさだ。

然し、流石に「綠の小筐」の道中は巧いものだ。動物を配したり人物を登場させたりしてその扱ひ方は賞めて好いと思う、それに增物の扱いを注意したならもう少し感動の深いものに成つたと思う。努力作である故に尙更そう感じるのかも知れないが。重要な音樂効果は余りパッとしなかつた。（完）

紹介

シューベルト描く

畫映　未完成交響樂

十六日から第二イワキ

脚色監督ウイリー、ウフルスト、カメラがフランツ、ブラナアというシネアリアンツ映畫

☆キャスト

シューベルト　ハンス、ヤーライ

カロリーネ　マルタ、エガルト

エステルハヅイ伯　オット、トレスラ

マリア　ルイズ、ウルリツヒ

☆ストーリー

十九世紀の初期のウイーンに珠玉の樣な名曲をまき散らした樂聖シューベルトは魂をゝ

後に近づいてあの美くしいモチイフの浪が後から盛りあがる所迄來た時だつた。突然シューベルトは高らかな少女の笑聲を聞いた。音樂に對する何んと言う冒瀆！シューベルトはたとピアノの手を止めた。そこには靈顏の花の如く美くしい少女が自からの笑聲にびつくりして肩をすぼめてゐた。其後シューベルトは短調交響曲を幾度も彈いたが、例のモチーフの處迄來ると何時も耳の底にあの高らかな少女の笑聲が響いてくるのであつた。彼はハンガリアのエスターハイツ伯の二人の令孃に音樂を敎へる爲め維納を立つた。が挨拶に出た姉妹の顏を見た時シューベルトは愕然とした。それは、彼を笑つた靈顏の少女だつたのだ。そしていつか彼の愛慕の的になつたカロリーネだつたのである。

廣いプスタのとり入れ祭の夜から二人はいとしかも結び合つた。併し伯爵の令孃が名もない作曲家と結こんするのはいつの代にも何所でも許されない事であつた。二人はへだてられた。そしてカロリーネは無理に候爵と結こんをされた。その後シューベルトは初めて完成した曲を、カロリーネを前に痛い戀しい思ひ出を持つて彈き始めた。曲が最後に近づいてあの美くしいモチイフが浪にのつてくる所になつた時又高い女の叫び聲に妨られた。見れば花嫁のカロリーネはあの時と同じ樣な白い裝ひの儘心の痛みに耐え兼ねて氣を失つたのである。

シューベルトは靜かにピアノの蓋をした。そして彼女のために遂に完成されなかつた終の頁を破いて白い餘白にこう書きつづつた。

「わが戀の終らざるごとく、この曲も又終らざるべし」

買受專門

衣類・洋服・貴金屬・時計・高級家具その他書畫

平市大町通り

鈴木商會

富士水產工場擴張

小名濱町字定西內木操氏（五四）は代用醬油の醸造に先きに富士水產會社の名に於て着手し、製品の販賣擴張と同時に工場の狹隘を感じ本町、磐崎屋酒類醸造倉庫を借り受け去る十八年以來大量醸造に乘り出したが目下更に擴張の計畫を建て元日立小名濱工場跡三千坪の敷地を買い入れ建築中である

精工舍の時計

常磐屋時計店

平一（電三三九）

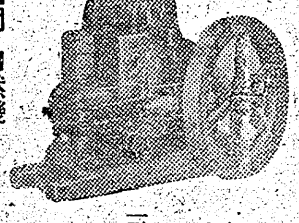
今日の問題

コンミユニテイとチエスト

コンミユニテイ、チエストとは、コンミユニテイは共同社會あるいは公衆をチエストとは箱を意味し共同社會の慈善箱と解釋されているが何故にこの慈善箱が必要か？現今の惡性インフレによる生活不安と各種犯罪の累增等の中に喘ぐ縣下約二十萬の惠まれない浮浪兒、孤兒、不具者、寄るべなき老人等々を大きな力で援護するため社會事業團体が縣民に代つてこの箱で一般の厚い惠みを受けていくためのもの

節電休日に備えて

ヤンマーディゼル



一馬力當り毎時重油一合一勺

三馬力以上百馬力迄

（受註即納）

山岡內燃機

福島縣代理店　常磐ヤンマー製作所

平市新川町電話九八四・八一九番

卓上日記の王者

最上紙質三百六十七枚使用

販華豪　卓上日記

及カレンダー

机上に是非一部

卸小賣蚊龍印刷株式會社

平出張所

平市才槌小路二九（本田製本所方）

衣料品卸賣業

指定纖維資材販賣業

平市大町二六番地（電九七七）

又一株式會社　平出張所

主任　半野義明

◇衣料品卸賣業者ノ部

綿スフ織物登錄第二二〇號、絹人絹織物登錄第二六七號、麻織物登錄第六六號、ガラ紡織物登錄第四四號、特殊織物登錄第七五號

◇指定纖維資材販賣業ノ部

綿スフ織物登錄第二二八號、絹人絹織物登錄第二六七號、麻織物登錄第六六號、ガラ紡織物登錄第四四號、特殊紡織物登錄第七五號、綿糸スフ糸登錄第六〇號、人絹糸登錄第六〇號、ステープルファイバー登錄第二九號、毛及反毛登錄第三一號

◇衣料品卸賣業代理店

山本被服株式會社作業服登錄第一六七號、關西足袋製造株式會社足袋第一〇號、又一伊藤被製服卸商組合戰製服第一六號、伊藤布帛卸商組合製品第一四號、株式會社藤井商店毛織物第七四號、又一洋行布帛卸商組合布帛製品第一八一號

カメラの店

良心的營業で

平市平和通り

茂木カメラ店

富士水產

平市六丁目通（電四八五）

さかいや百貨店

上原時計店

平えき

主上原明さん（三三）は自身が引揚者であるが、同じ苦惱をもつ引揚者や戰災者のためにと去月十日から全二十五日まで十六日間川前、上三阪、下三阪永戸等の交通に惠まれぬ地方を巡回、費用は一切自辦でラジオ七十三台、時計二百三十五個を無料修理奉仕し、その奇特な行爲を各方面から感謝されている

百貨卸問屋

平市六丁目通（電四八五）

あらゆる百貨をキツト御氣に召す

凡ゆるサービスで

電球

ナトウ

品定檢級一

平硝子製作所

平市田町二七六

本社一・四五五・本電七一